

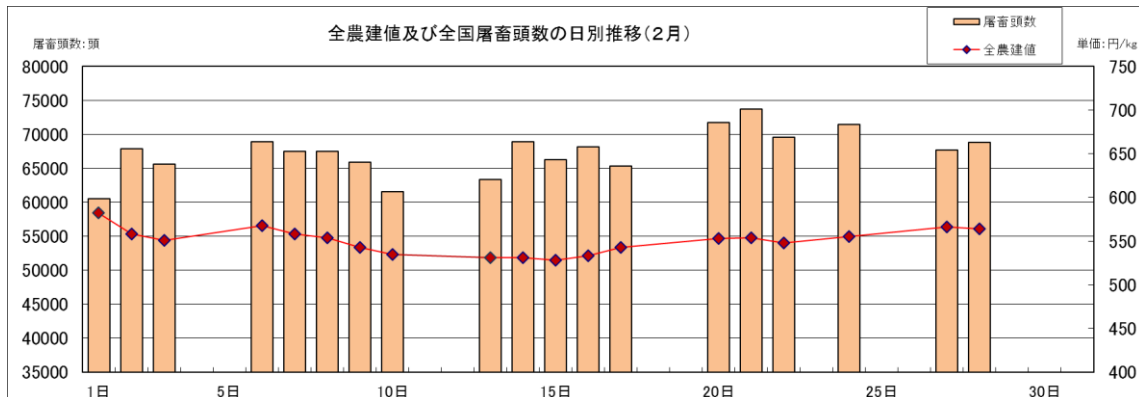
肉豚インフォメーション（2月）

【全農建値】

2023 年 2 月（税抜）	2022 年 2 月（税抜）
550 円/kg（82 円高）	468 円/kg

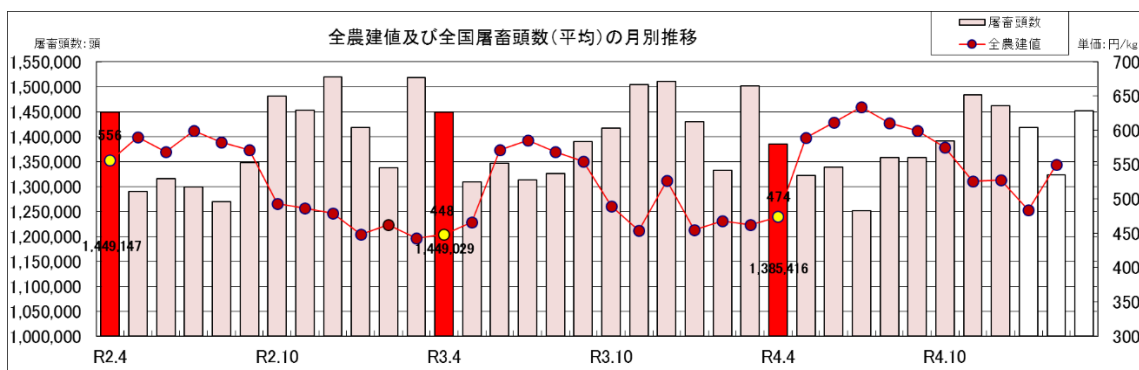
※過去 30 年で 2 番目に高い相場

2 月は、外食需要も徐々に回復してきている中で相場は 550 円前後で堅調に推移し、この時期にしては高い相場展開となった。



3 月以降の動向

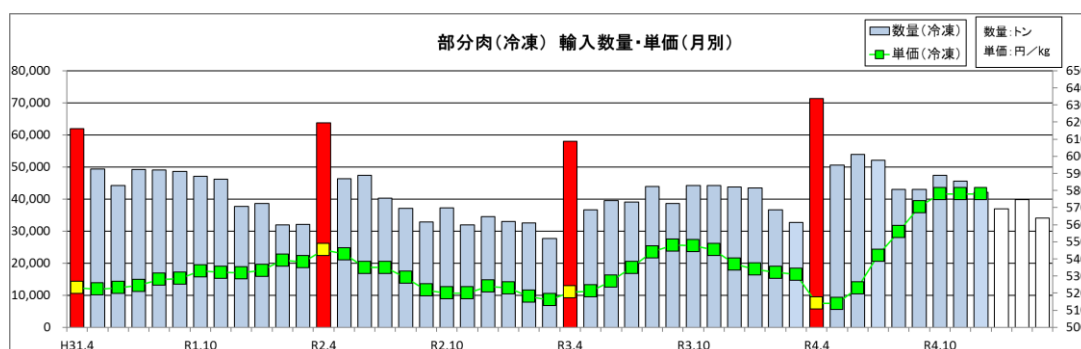
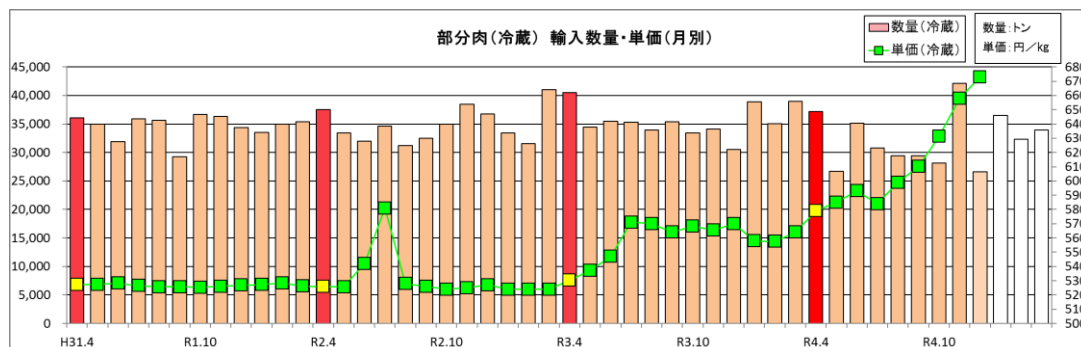
3 月の出荷頭数は、前年同月をやや下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、為替の影響や主な輸入元である北米の現地相場の高止まり等から、2 月はかなりの程度、3 月はかなり大きく、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、為替の影響や北米の現地相場の高止まり等はあるものの、主要な輸入地域である欧州からの安定的な供給により全体では増加が見込まれること等から、2 月はかなりの程度、3 月はやや、いずれも前年同月を上回ると予想する。なお、3 カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

（A L I C 豚肉の需給予測について 2 月 22 日）



原材料費の値上げや物流費の高騰などで、食料品の値上げが相次いでいる。家計への負担が大きくなる中で、価格も牛肉より割安な豚肉は家庭の食卓に欠かせない存在となっており、豚肉に対する高い需要がある。

2月末に本県において3例目となる養豚場における豚熱の発生が確認されるなど、依然として感染拡大が続いていることや、海外ではアフリカ豚熱の感染が広がっており、アジア全域にも広がりを見せていることから飼養衛生管理基準の徹底が求められる。一方、今後国内外の旅行客増加も想定されるため、人の活動や車両の移動による長距離伝播の可能性もあり、水際対策等の官民をあげた対応が必要となっている。

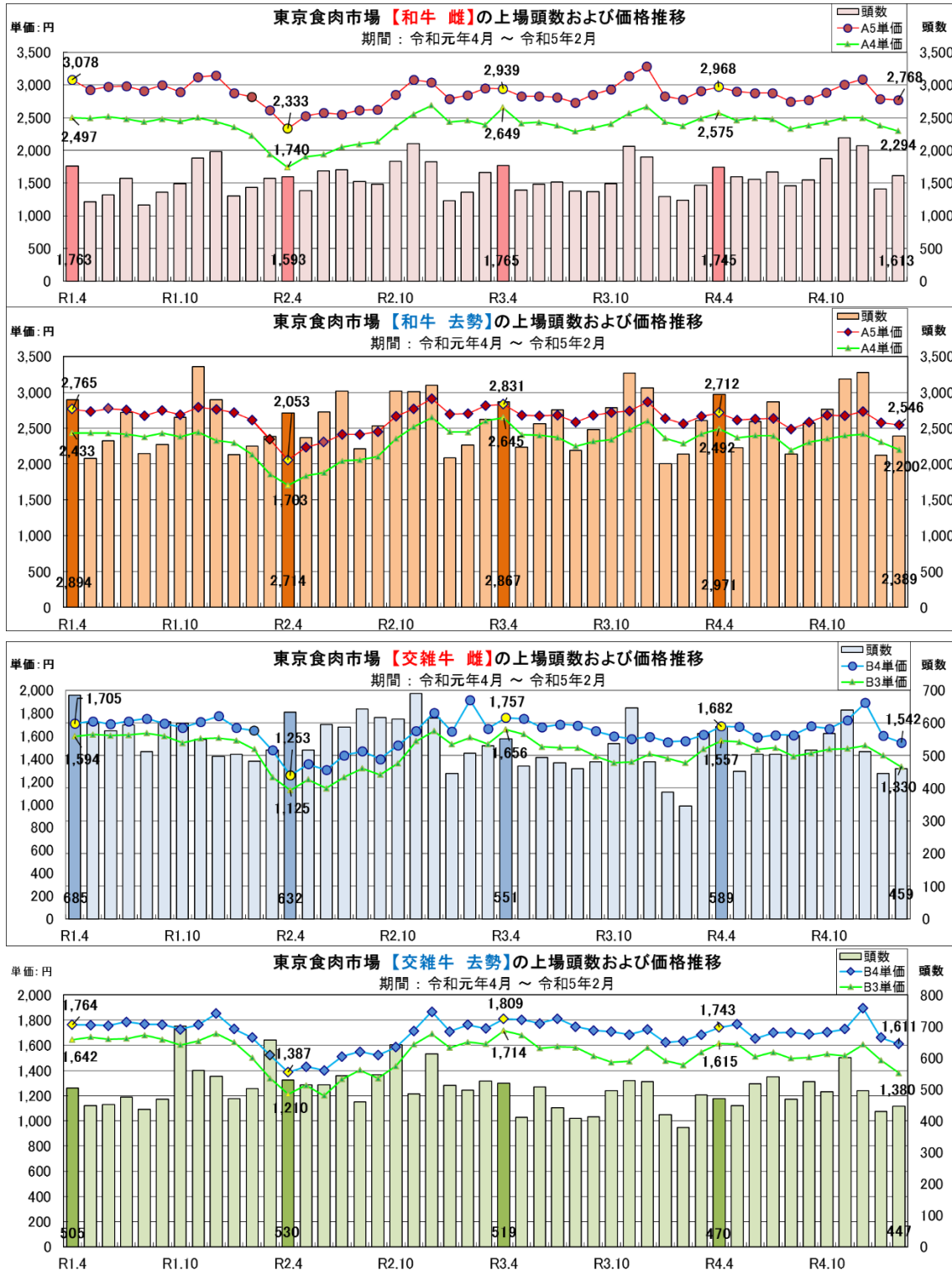
3月の堅調に推移する見通し。

全農建値(税抜)予測レンジは530円～600円とする。

肉牛インフォメーション（2月）

● 2月の動向

交雑牛は相場を維持したが、和牛去勢 A4 が月後半には 2,100 円台まで下落し、堅調だった雌も緩んだ。上場頭数が多くなかったこともあり、大きな下げはなく相場を維持した。



● 3月の動向予測

年度末でもあり卸関係は買いを抑え、在庫消化の動きが出てくるものの、下旬からは送別会などの催事需要と合わせて、5月連休を見据えた買いが出てくる。暖くなる頃からの相場回復に期待したい。和牛は2月相場のもちあい予想。交雑牛はやや戻す見方もある。

3月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,600 円（税込み） A4 等級 2,350 円（税込み）

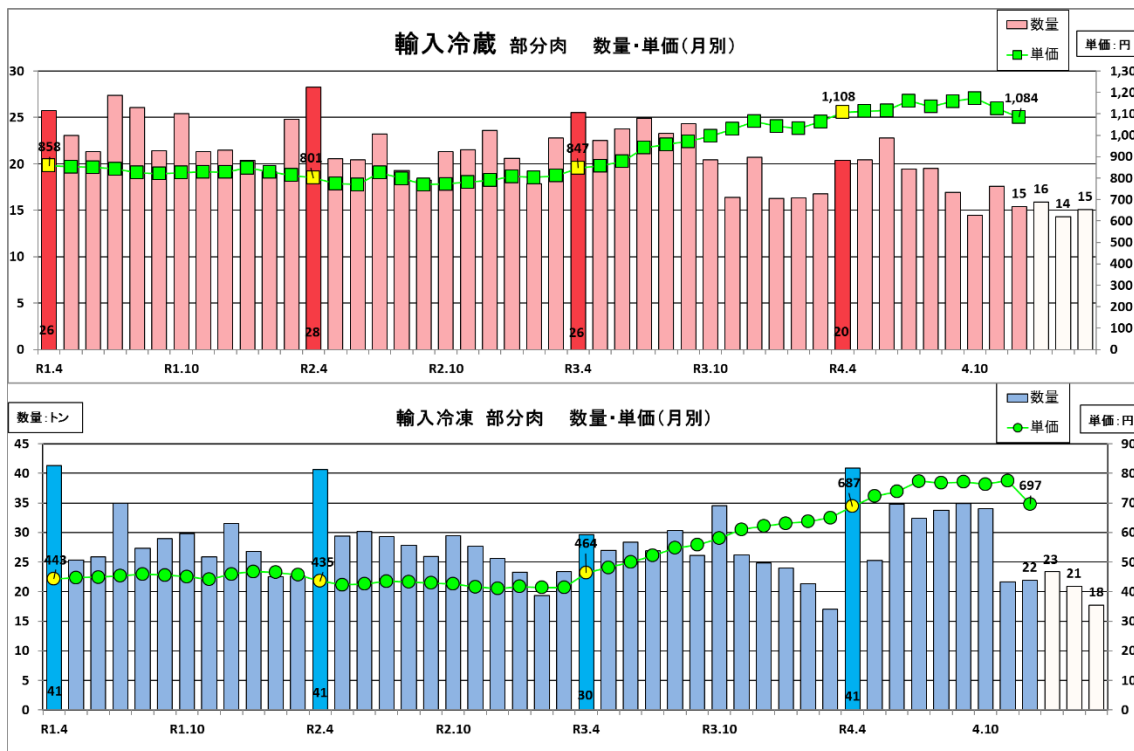
交雑去勢 B4 等級 1,600 円（税込み） B3 等級 1,400 円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低下や現地価格の高騰の他、入船遅れの影響等から、2月はかなり大きく、3月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、2月は、国内需要の低下や入船遅れの影響等から、前年同月をわずかに下回ると予測する。3月は、輸入量自体は例年同時期より少ないものの、豪州産の生産量の回復が見込まれていること等から、前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

（A L I C牛肉の需給予測について2月22日）



● 消費動向

引き続き物価高騰が消費行動を慎重にさせており、高単価品の牛肉の荷動きは低迷している。3月までの全国旅行支援だが、地域によっては4月以降の継続も検討されている。また、回復しつつあるインバウンド需要にも今後期待したい。

●全農茨城県本部家畜市場動向

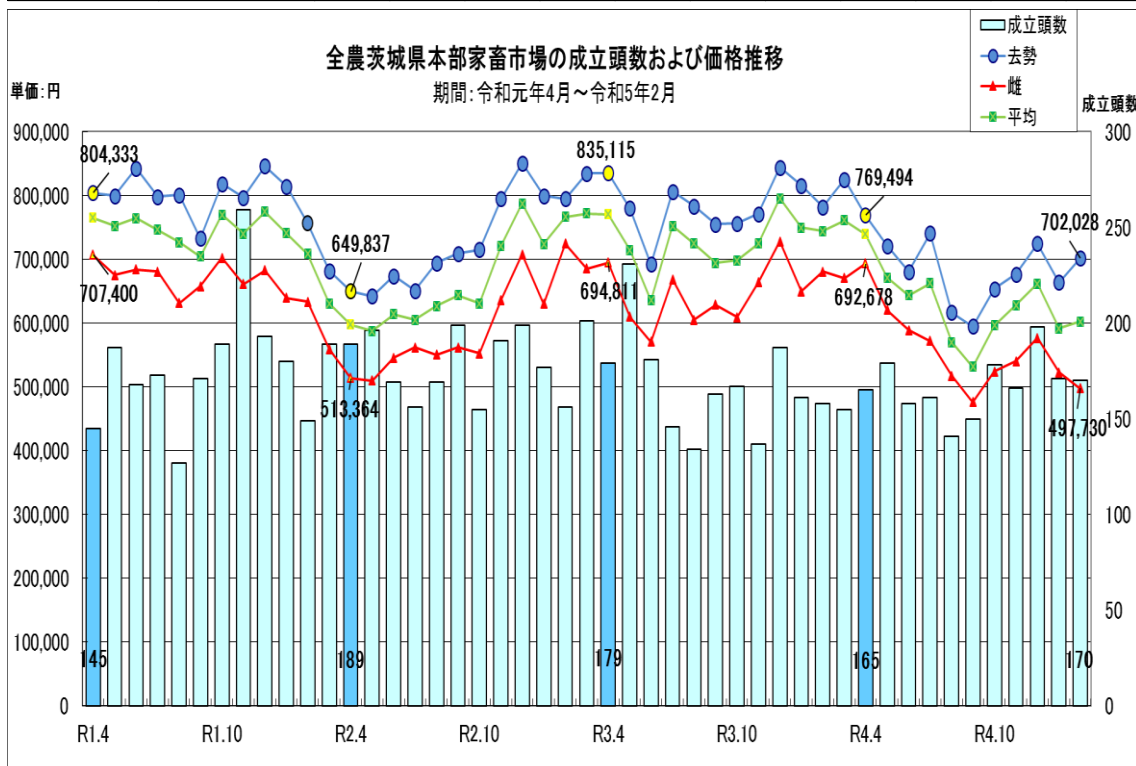
素牛平均価格（2月税込）は、黒毛和種の雌は497,730円で前月比▲25,023円、去勢は702,028円で前月比+38,374円となった。上場頭数（成立）は170頭で前月比▲1頭。

次回上場頭数は160頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

（税込）

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	730,497	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776	744,087	761,385
去勢	787,183	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667	781,744	825,290
雌	648,362	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911	680,900	670,519
4年度 平均単価	627,122	739,233	671,234	643,591	662,357	569,995	531,740	596,089	628,153	661,700	591,967	602,282	
去勢	685,830	769,494	721,233	680,689	741,157	616,499	594,914	653,667	676,428	724,369	663,654	702,028	
雌	557,229	692,678	620,672	589,102	572,000	517,150	476,244	523,934	540,603	576,649	522,753	497,730	
2年度 成立頭数	178	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	167	179	231	181	146	134	163	167	137	187	161	158	155
4年度 成立頭数	167	165	179	158	161	141	150	178	166	198	171	170	



食肉インフォメーション（2月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査1月度結果報告によると、コロナ第8波のピークを迎えつつも制限がなかったことから影響は少なく、年始需要が好調だったことから、外食全体の売上前年比115.3%、コロナ前の2019年比で104.2%となった。しかし、これは各種価格高騰に伴う客単価増加が要因であり、全体の客数はコロナ前の水準まで回復していないと見込まれる。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の1月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,186億円(前年同月比103.4%、既存店ベース101.7%)で、気温低下に伴い豚肉・鶏肉の鍋物用が好調だったほか、牛肉も高騰する輸入と比べて国産の動きが良かった。しかし相場高騰により利益が圧迫される傾向があった。

2月は例年不需要期ということで動きが弱くなるが、今年は相次ぐ食品の値上げが加わり、より厳しい状況となる見込み。外食向けの需要は回復傾向にあるが、コロナに加えてインフルエンザも流行が拡大しており、不透明感が強まっている。

○牛肉

1月は、国産では年末年始の反動に加えて、物価高により豚・鶏に需要が移ったことで、和牛・交雑・ホルスともに低調な荷動きとなった。輸入物では、価格の高止まりや入船遅れが続いたことで、国産牛や他畜種への切り替え志向が強まり、鈍い荷動きとなった。

○豚肉

1月は、国産では年末年始の反動や物価高による節約意識の高まりから、安価なスソ物中心の動きとなった。月後半からは全国的な寒波が出荷や生育に影響し、需給がひっ迫した。輸入物では、冷蔵品は価格高止まりと入船遅れで動きが鈍かったものの、比較的安価で在庫水準の高い冷凍品は堅調な動きを見せた。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年1月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和2年度1月	15,622	28,418	9,130	60,126	24,184	20,205	7,788	165,473
令和3年度1月	15,879	29,007	10,562	52,511	26,593	14,000	9,627	158,179
令和4年度1月	16,196	26,274	9,282	43,031	26,840	13,918	8,978	144,519
増減 (R4-R3)	317	-2,733	-1,280	-9,480	247	-82	-649	-13,660
対比 (R2/R4)	104%	92%	102%	72%	111%	69%	115%	87%
対比 (R3/R4)	102%	91%	88%	82%	101%	99%	93%	91%